



サニーウイング関屋
季刊新聞
2011.1.1発行

創刊号

これは、サニーウイング関屋と、介護について考える皆さまとを、つなぐ新聞です。
ひとりでお悩みではありませんか?
なんでも抱え込まずに、まずはお気軽に私たちにご相談ください。
きっと、新しい道が見えてきます。

医師の目線で
考えた、介護

新ひなた新聞

Hinata
News
papers



経管栄養・酸素療法・人工透析の方も、受入れ可能です。認知症でお困りの方や、お急ぎの方もお気軽にご相談ください。

住宅型有料老人ホーム サニーウイング関屋 〒951-8127 新潟市中央区関屋下川原町1-676-1 FAX.025-234-6166
TEL.025-234-6155 <http://www.maj.co.jp>

登録ヘルパーさんも、随時募集中です。上記まで、お気軽にお電話ください。職員希望の方への説明会も随時受け付けております。

この人に、
聞きたい。

ひなた インタビュー vol.1

私たちが提供するのは、
**「介護」という名の
「癒し」の空間と時間なんです。**



林 恒美 はやし・つねみ

脳医学の世界的研究機関である新潟大学脳研究所を経て、現在「関屋田町クリニック」院長。神経内科医。全国でもまだ数少ない「認知症専門医」に合格。「癒し」系の風貌ながら、学生時代はバレーボール部の熱血エースアッカーハンマーとして活躍。



高齢化という
社会問題に
真摯に
取り組んで
います

認知症患者はすでに150万人を超え、

2026年には65歳以上の高齢者の10%に

達すると推計されています。

今年7月にスタートした「サニーウイング関屋」は、

「認知症専門医」が運営する、数少ない

〈医療+快適空間〉一体型の老人ホームです。

そこで今回は、林恒美院長が、

設立の経緯等についてご説明いたします。

介護保険制度がスタートして、訪問介護を含めた介護施設も数は充実してきましたが、専門医の立場からすると、はたして実態はどうなのかな、という思いがあつたんです。というのも、認知症の発症原因は人それぞれ異なり、プロファイリング（性格、生活習慣、病歴などの総合的な診断）を行わないと、その人に適した対症療法や快適な住環境を提供できません。認知症のおもな症状は記憶障害ですが、起こった出来事は忘れても、それに生じられた感情（喜・怒・哀・楽）は残るんです。

介護施設も医療機関に準ずるものですから、専門医が主導的立場にないと、その種のメンタル・ケアにも十分な対応ができないだろう、だつたら自分たちでやろう、と考えたのが設立の理由です。

時代のニーズ、 「認知症専門医」制度

耳慣れない「認知症専門医」とは？

数年前にスタートしたばかりのこの制度は、認知症に携わる医師の経験と知識が厳正に審査され、資格を認定されます。

認知症は、神経内科・内科・脳外科・精神科・リハビリ科など多方面から検診、治療、介護を行う必要がありますが、「認知症専門医」はその窓口であり、中心的役割を果たす立場（司令塔）でもあります。

「我が家にいる」が安心感をもたらす

医療+居住性にも配慮したのは？

これまでの認知症への対応には、当事者の立場があまり考慮されていませんでした。さきほど申し上げたように、認知症の人たちにも感情があり、誇りもあります。何げない一言で気分を害したり、かまつてもらえないとススメたり、不安に苛まれたり、その点は健常者となんら変わりません。

認知症をはじめ、入居されたすべての人には「我が家（安心できる場所）」と認識していただこうが、いちばんのメンタル・ケアになると考えていました。そのため、スタッフにも入居者は「大切な親」と思って接するように、といつてあります。見学にお越しの際、スタッフの接客マナーのよさを確認していただけるかと思います。



入居者の方々には
家族のように
接しています

「認知症専門医」が目指す 介護医療の理想とは？

マンション感覚の 「住宅型」老人ホーム

老人ホーム（デイサービスセンター併設）創設にいたった経緯は？

認知症だけでなく、老老介護や独居老人など、高齢化社会には解決すべき問題がいくつもあります。「住宅型有料老人ホーム」なら、そういう人たちも柔軟に受け入れ可能です。

全室、オール個室ですからプライバシーは確保できますし、365日24時間体制で職員が常勤していますから、万の場合も安心。老人ホームというより、マンション（あるいはホテル）に医療システムを併設したもの、と考えていただければいいかと思います。

病気予防に役立つ 「健康教室」を開催

ホームで毎月開催の「健康教室」は、認知症予防の一環ですか？

認知症のなかでも、とくに多いアルツハイマー型や脳血管性認知症は、生活習慣病（糖尿病、高血圧、高脂血症など）が原因で発症する症例が多いです。当ホームの関連機関である「関屋田町クリニック」では、生活習慣病の治療のほか、心筋梗塞や脳卒中の予防に力を入れています。

「健康教室」はその一環ですが、より多くの方に、健康維持や病気予防のノウハウを提供できれば、と開催しています。どなたでも参加（無料）できますので、希望の回がございましたら、事前に予約申し込みください。お待ちしています。



イベント Report

2010.10~12

サンーウイング閑屋では、定期的にイベントを開催して、入居者の皆さまに、毎日を楽しく過ごしていただけるよう考えております。また、健康教室のように、地域住民の方々が楽しみながら学べるイベントや、内覧会、体験入居なども随時開催しています。

大好評！「健康教室」

月二回開催されている「健康教室」では、医師による糖尿病の話や高血圧の話、また管理栄養士からは食事の注意ポイントなどをわかりやすく講義しています。

休憩をはさんで行われる質問コーナーでは、皆さまが普段の生活のなかで不安に感じていらっしゃること、薬の疑問などにお答えしています。

そして最後は、全員揃って健康体操！音楽に合わせて楽しみながらやるのがポイントです。

次回はぜひあなたも、「」参加ください。

サニーウイング関屋では、さまざま
な状況の方が、それぞれの事情を
抱えて入居されています。そこで、
こちらでは「ご家族様の声」を紹介
させていただきます。

されたのが精神病院だつたんです。
いくら介護に疲れていたとはいえ
母の残りの人生を精神病院で過ご
させるわけにはいかなかつた。

出口の見えないトンネルにいたようなあの頃が、嘘のようです。

FAMILY FILE. 1

シリーズ・家族が家族であるために

ね。とにかく一人でいられない、子どもと一緒になってしまったんです。

真夜中でも「足がしびれるから救急車を呼んで欲しい」、「眠れない」。
日中、仕事をしていても「階段が昇れない」など……。睡眠薬と言ひ聞かせて、何度も栄養剤を与えたことが。
始めのうちはいいんですよ。ああ、今度は私が母の面倒を見る順番なんだなあ、と思えるんです。しかし、これが毎日でしよう、そしていつ終わるのかもわからない。

——自分が倒れてしまりますよね。

大変なストレスでした。仕事を辞めて、介護に専念したところで、解決する問題でもないです。そこで、当時の主治医に相談したところ、紹介

——入居前、丹保さんとお母様は同居していらっしゃったんですか？

七年ほど前、母が交通事故に遭いまして、それからちよつと身体のほうが心配で、同居を始めました。でもその頃は多少身体が不自由になつたとはいえ、まだ母もしっかりと暮らし、穏やかに暮らしていました。

——お母様に異変を感じ始めた？

ちょうど90歳を過ぎた頃でしょ

—そこで、当ホームと出会った。
ちょうど、林恒美先生とうちの母
も相性が良かつたんですね。処方さ
れたお薬のお陰で「足のしびれもな
くなつた」と喜んでいますし、何より
お気に入りのヘルパーさんも出来た
ようで(笑)。そして驚きなのが、夜
きちんと眠れているようなのです！
私もようやく、自分の生活を取り
戻し、娘らしいことをしてあげられ
そうです。ありがとうございます。

左(娘) 丹保 洋子様
右(母) 佐藤 アキ様

司法書士として、忙しく活躍される傍ら、お母様の介護も兼務されていた洋子さん。今も、お仕事を終えると毎日、お母様を訪ねていらっしゃる様子から、素敵な母娘関係がうかがえます。明るい介護のポイントは「一人で抱え込まないこと」なんだそうです。当ホームがお役に立つことができて、光栄です。



入居者募集中! 詳しくは、お気軽に係員までご相談ください

住宅型有料老人ホーム サニーウイング関屋

職員による24時間365日の管理体制を採用。居室はすべて個室のため、プライバシーの確保も万全。全居室にエアコン・トイレ・洗面・収納・ベッドが完備されています。

定期健康診断はもちろん、生活面のご相談もお気軽にしていただけます。緊急時には協力医療機関と適切な連携体制を図っておりますので、医療依存度の高い方（経管栄養・在宅酸素・糖尿病でインシュリンをされている方）も安心。認知症の方も、遠慮なくご相談ください。ご希望があれば、ホームでの看取りを行うことも可能です。



見学・体験入居随時受付中!（短期入居も可） お問い合わせ TEL.025-234-6155 担当／皆川

デイサービス
のみの利用も
もちろんOK!



ウイング関屋 デイサービスセンター

ご自宅から通いながら、入浴・食事・各種介護・機能訓練（予防介護）・レクリエーションなどのサービスが受けられます。お客様とご家族の方の精神的・体力的な負担を軽減し、日々過ごすよろこびを皆様が感じられるようお手伝いします。

ホール内は機能訓練・趣味活動・交流の場になっており、機能訓練は音楽を取り入れたり、楽しみながら様々な事を行っています。

入浴は一般浴と機械浴の、2種類の浴槽がありますので、お客様の状態に合ったお風呂を選んでいただけます。

見学・体験利用随時受付中! お問い合わせ TEL.025-234-6161

ウイング関屋 居宅支援介護事業所

個人によりケアプランは異なり、また日々変化していきます。

私たちケアマネージャーは、その都度、健康面、生活面等を配慮しながら、皆さんと相談したうえで、納得のいく安心のケアプランをご提案して参ります。小さなことからコツコツと、始めましょう。

お問い合わせ TEL.025-266-7718

ウイング関屋 訪問介護ステーション

住み慣れた環境で安心して生活を送りたい方のために、ご自宅に伺い日常生活のお世話を始めとした、各種介護サービスを行います。また、お客様の状態に合った食事（カロリー別やイレウス食など）を提供させて頂くとともに、経験豊富なヘルパーによるメンタルケアも行っております。

お問い合わせ TEL.025-266-7718



●要介護度の人でなければ入居できなのですか？
いいえ、自立の方から要支援、要介護の方まで幅広く一人一人に対応しております。自立の方で、サニーウイングを拠点とされながら毎日悠々自適に生活なさついらっしゃる方もござります。関屋という便利な土地での快適な生活を送ることができます。

よくある質問

●入居の際に必要な経費はどれくらいですか？

サニーウイングでは一般的に入居にあたっての入居一時金というものは頂いておりません。入居時には事務手数料と、敷金として家賃相当額の3か月分（20万前後。退去時に清算）を頂いております。

サニーウイング関屋 ひなた新聞 創刊号

●発行／(株)メディカル・エージェンシー・ジャパン ●編集／皆川敬 ●制作／(株)アドプロダクションエム
●デザイン／金子敦子 ●イラスト／CHAME ●ライター／大地哲司(インタビュー)

※この新聞に掲載されている情報は、2010年12月20日現在のものです。情報は予告なく変更となる場合がありますので、ご了承ください。 ※「ひなた新聞」についての、ご意見・ご要望などありましたら、お気軽にお寄せください。 ※本誌掲載記事・写真・イラスト等の無断複写(コピー)・複製・転載を禁じます。